

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		決勝															
日時	平成28年12月25日(日)	11:40 ~															
会場	深川市総合体育館																
結果	●		○														
	釧路青陵	<table border="0"> <tr><td>8</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>7</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	8	—	17	7	—	11	14	—	15	16	—	8		OT	
8	—	17															
7	—	11															
14	—	15															
16	—	8															
	OT																
審判	主審 伊勢谷 尚史	副審 上田 真太郎															

第31回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

釧路青陵		(釧路)地区						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	徳永 萌来	×	17		8	1		1
5	山内 瑠々奈	×	4		2		4	2
6	村山 佳乃	×	9		3	3	4	0
7	山田 桃花	×	8		3	2	10	3
8	工藤 そよ香	×	3		1	1	1	4
9	高橋 未雨	DNP						
10	伊藤 姫花	/	4		2		1	1
11	二谷 夏菜	DNP						
12	佐々木 渚	DNP						
13	野村 海友	DNP						
14	大風 沙弥	DNP						
15	百目木 麻衣	DNP						
16	三浦 采華	DNP						
17	古川 莉子	DNP						
18	立山 そあら	DNP						
HC	内海 美由希							
合計			45	0	19	7	20	11

旭川東光		(旭川)地区						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	鶴岡 文芽	/	12	4				2
5	松本 綾音	×						1
6	高間 虹	×	3		1	1	2	2
7	篠田 美緒	×	23	1	7	6	9	2
8	中村 瑞希	×	4		2		6	1
9	小林 凜	×	9		4	1	7	2
10	千葉 倭愛	DNP						
11	竹内 文香	/					1	
12	正木 温	DNP						
13	川島 琉愛	DNP						
14	谷澤 侑香	DNP						
15	白井 七海	DNP						
16	西村 彩	DNP						
17	松浦 夏海	DNP						
18								
HC	中村 久乃							
合計			51	5	14	8	25	10

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

第1Q、青陵は#4、5、6、7、8、東光は#5、6、7、8、9でスタート。青陵は身長を生かし、ドライブやインサイドプレーを中心に攻める。一方の東光は#7を起点とした、カッティングやパッシングで主導権を掴みにかかる。東光が連続得点で流れを掴みかけるが、青陵も必死に食らいつく。第1Qは8-17と東光リードで終了。
 第2Q、青陵はデザインプレーや1on1を中心に追い上げを図るが、シュートがなかなか決まらない。一方の東光は見事な連携で確実にシュートチャンスを作り出し、徐々に点差を広げていく。リズムをつかめない青陵は残り6分1秒、8-18となったところでタイムアウト。シュートに思い切りの良さが出てきた青陵はオフェンスリバウンドも奪い始め、徐々に自分たちのペースを掴んでいく。しかし点差は縮まらず、第2Qは15-28と東光がリードを広げて終了。
 第3Q、東光は徹底したカッティングやパスでシュートチャンスを増やしていく。青陵もなんとか追い上げを図るが、東光の#4の連続3Pシュートで一気に点差を広げられる。残り4分32秒で21-41と東光がこの試合最大のリードを奪ったところで青陵がタイムアウト。タイム後は東光のシュートが決まらなくなり、第3Qは29-43と東光がリードで終了。
 第4Q、ドライブからのシュートでディフェンスを破り始めた青陵が、連続得点で33-45と点差をつめる。残り4分3秒、35-45となったところで東光がタイムアウト。タイム後、青陵がオールコートディフェンスからボールを奪い、連続得点。残り2分26秒で43-47となり、東光が再びタイムアウト。残り59秒、45-47の東光がリードしているところで、東光が最後のタイムアウト。スローインからのデザインプレーを東光#7が沈め、点差を4点に広げる。最後までリードを守りきった東光が45-51で勝利し、北大優勝を決めた。